



北朝鮮の核実験に対する抗議及び対話による平和的解決を求める声明

日本YWCAは朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）政府が発表した10月9日の核実験実施に対して強く抗議します。これは東北アジアのみならず、世界全体の平和と安全に対する深刻な脅威です。

日本YWCAは1970年以来、世界の人々と平和の内に共存するためにあらゆる核実験の中止と核兵器・放射能兵器の廃絶を求めて活動を続けています。毎年8月には「ひろしまを考える旅」を実施して原爆投下の惨状について学び、今なお続く被爆者の苦しみや悩みを知り、核兵器は二度と使われてはならないと考えています。また、近隣国のNGOとのネットワークを生かして、東北アジアの平和の実現に向けて努力すると共に、東北アジアの非核地帯構想を支持しています。

日本YWCAは北朝鮮政府が6カ国協議の場にもどって対話による平和的解決をめざし、今後核実験や核兵器開発の一切を中止し、放棄することを求めます。また、関係各国及び日本政府には対話による平和的解決と朝鮮半島の非核化をめざし、2005年9月の6カ国共同声明に基づく包括的解決、つまり北朝鮮が核を放棄すると共に、安全の保証、国交正常化、経済協力などの問題に対して柔軟に対応することを求めます。

2006年10月14日

日本YWCA

会長 青木 恵子
総幹事 川端 国世

